



We are a big family! (UNEP 第3回北東アジア青年環境会議、東京・千葉)

エコ・リーグ（全国青年環境連盟）2007年度活動実績書

# エコ・リーグとは

## ミッション

### 活動創出・社会イノベーション

環境問題の解決を目指す青年活動が連携し、互いに発展、活性化しあう場を創ることで問題解決を目指す。

### 自己成長・キャリア

環境問題解決の実践活動を通じて青少年が社会参画する喜びを学ぶ機会を提供する。

## 団体概要

正式名称: 全国青年環境連盟

発足: 1994年8月15日)

対象: 16～29歳までの「青年」

活動等参加者: 年間のべ2000人以上

組織形態: 中間支援組織

運営: 学生のボランティア、理事(主に社会人)、アルバイト

資金: 2007年度予算 1700万円

(会費、イベント収益、助成金、事業委託)

## 4つの活動

エコ・リーグは4サポート事業を軸としています。

### ネットワークサポート

ユース・エコロジー・ギャザリング(全国各地)

-全国的に展開する交流合宿。「全国ギャザリング」は、200人の学生が4泊5日を過ごす。この14年間で100回以上開催。

-参加者が企画を組める「自主企画」では、毎年約10に及ぶ新しい活動が生まれる。

全国大学生環境活動コンテスト(12月、東京)

-東京電力と共催の企画。大学生の環境活動を社会から評価する。2003年より開催。のべ1000人、50以上のサークルが発表する。



### キャリアサポート

環境系進学相談会「えこみゆにけーしょん」(東京・大阪)

-環境の勉強をしたい高校生に、環境の学部・学科・研究室で学ぶ大学生が進学相談を行う。

「環境」就職・進路相談会(東京・名古屋・大阪・北九州))

-環境の仕事をしたい大学生に、環境の現場で働く社会人が進路相談を行う。(採用は関係なし。OB訪問的)東京では、エコ・プロダクツ内で開催。350人の就職活動生が参加。社会人は60名。



### マネジメントサポート

スキルアップ・セミナー

-ミーティングの進め方、プレゼンテーションの仕方、企画書の書き方、広報の仕方、引継ぎの仕方などを、先輩学生・社会人らが講師となり、円滑なサークル等運営を支援する。年に数回開催。



### インターナショナルサポート

UNEP-TUNZA 北東アジア青年環境ネットワーク

-国連環境計画UNEPの青年戦略「TUNZA」の北東アジア地域ネットワーク「NEAYEN」の日本窓口を行う。中国、韓国、モンゴル、日本の4カ国で組織される。

-2007年は日本がホストとなり4カ国国際会議を開催。

国際環境リーダーの育成

2007年度地球環境基金の助成を受け、国際的に活躍できる青年の人材育成を開始。環境英語トレーニング、国際会議への青年派遣、アジア各国の青年と環境協働事業を行う。

## 2007年のトピックス

### 1. 環境リーダーの育成

1994年に約10団体だった、エコ・リーグのネットワークする団体も今年度約300団体へと増え、エコ・リーグの「ネットワークすることにより環境活動を広げる」という当初のミッションのひとつを終えてきたと感じ始めていました。

しかし、エコ・リーグの可能性はまだあります。私たちは、多くの同世代の青年との交流や、先輩からのサポートにより、より多くの青年が「0から1」を作り出す力を発揮し社会に、イノベーションを起すことができるよう支援することを重点項目に掲げ、全ての事業においてそれを実践しました。

### 2. 組織基盤強化 会計制度・専従職員雇用への試み

今年度も大小50以上のイベントを全国で行いました。事業が拡大することはうれしいのですが、ボランティアの学生だけで全国の会計をきれいにまとめることは難しく、これまでとても時間がかかってきました。

今年度は、Panasonic NPO サポートファンドを頂き、会計システムの全国的な統一、2008年度からの専従職員を雇用できる体制作りを始めました。今後は、

### 3. 国際環境リーダーの育成

2005年から、UNEP TUNZA（世界の青年環境ネットワーク）の日本窓口として事業を開始し、多くのアジアの青年たちとのネットワークができてきました。

今年度は、「UNEP TUNZA 北東アジア青年環境ネットワーク会議」「東アジア青年環境会議」の2つの会議を主催し、多くのアジアの青年たちと情報交換をし、学ぶことができました。また、UNFCCC COP13を始め、様々な国際会議に青年を派遣したり、環境英語トレーニングなどを、国際環境リーダーの育成にも力を注ぎました。

### 4. 未来の竜馬がたくさん！四国

これまであまり環境活動が盛んでなかった四国でしたが、今年度は違います！

四国青年NGO HOPEが設立され、四国ギャザリングには100名以上の青年たちが参加し、そこから多くの団体が生まれています。

## ネットワークサポート

全国各地に、約300の大学生が主体となった環境サークルがあり、数千人の青年が環境活動を行っています。エコ・リーグはその団体・人をネットワークすることにより、青年の活動を活性化させています。



### ギャザリング

目的：全国・地域の環境活動している学生や社会人のネットワークを作る。体感ゲームを通して現代社会の問題を実感するなどして、話し、知り、学んで成長し、環境活動をより意義のあるものにする。

内容：合宿形式での分科会、シンポジウム、ワークショップ、レクリエーション等

今年も全国各地で11のギャザリングが開催されました。

#### 全国ギャザリング（8月ギャザリング）

日程：8月30日-9月3日

場所：関が原青少年自然の家

参加者：250名

テーマ：誰もが参加者、誰もが講師！！

実行委員長：北俊宏（和歌山大学）

#### 四国ギャザリング

日程：5月3日-5月5日

場所：香川県立五色台少年自然の家

参加者：58名

実行委員長：大石一告（高知大学）

#### 静岡ギャザリング

日程：5月3日-5月5日

場所：静岡県立焼津青少年の家

テーマ：～キミと交流と時々環境～

実行委員長：武田章（静岡大学）

#### 社会人ギャザリング（関東）

日程：6月23日

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

主催：エコ・リーグ（全国青年環境連盟）

共催：えん（環境マインド若手社会人交流会）

#### 社会人ギャザリング（関西）

日程：10月27日

場所：大阪府立青少年会館第7，8会議室

#### 関東ギャザリング

日程：2月25日-2月27日

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

テーマ：意志ある所に道がある

～目的探しのギャザリング～

#### 関西ギャザリング

日程：2月29日-3月2日

場所：大阪市立びわ湖青少年の家

テーマ：びわ湖で叫ぼうみんなのWA！

#### 中日本3月ギャザリング

日程：2月29日-3月2日

場所：渥美どろんこ村

テーマ：Farming And Nature

Change Yourself

実行委員長：井手まどか（人間環境大学）

#### みちのくギャザリング

日程：3月7日-9日

場所：花山青少年自然の家（宮城県）

テーマ：素敵な未来へActionするべえ！





## 大学生環境活動コンテスト（エココン）

目的：環境活動を行っている大学生の取り組みを評価することでさらに発展させると共に、広く社会に発信する機会を設ける。

内容：グループ別選考会（初日）、交流会（初日夜）  
勉強会（2日目午前）、最終選考）

日時：2007年12月26日-27日

場所：国立オリンピック記念センター

参加者：約900名

参加団体数：64団体

共催：東京電力

-グランプリ

6類エコプロジェクト-環境クイズ作成委員会  
(東京大学)

-準グランプリ

FOREST (東京農業大学)

-入賞

里山ボランティアサークル洞楽村 (信州大学)

武蔵野大学環境同好会エコの民 (武蔵野大学)

eco active (崇城大学)

TEAM LIFE (九州大学 北九州市立大学 福岡大学)

KITeco (北見工業大学)

OSHARECO map 作成会 (愛知淑徳大学 人間環境大学  
中京大学 三重大学など)

## Japan Youth G8 Project

- あなたの声が、世界の未来を変える

持続可能な社会のための日本青年サミット

(Japan Youth Forum Toward G8 Summit)

日程：3月7日-9日

場所：横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター

参加者：約150名

主催：Japan Youth G8 Project

共催：国際青年環境NGO A SEED JAPAN

エコ・リーグ (全国青年環境連盟)

YDP Japan Network (申請中)

目的：G8サミットに向けて、青年が地球規模課題を知り、分野を超えて連携し、声をあげる

内容：キーノートスピーチ

テーマ毎の分科会や宣言文の作成

- ・気候変動・生物多様性・水問題・難民及び外国人労働者
- ・エイズやマラリアなどの感染症・軍縮
- ・基礎教育・児童労働等の分科会

Japan Youth G8 Projectは、エコ・リーグが設立当初から関わりのネットワークやノウハウを他の青年団体と共有する機会となった。また、多くの青年が分野を超えて社会問題を知り、考えるきっかけとなった。エコ・リーグの福島広希 (2002年度関東事務局長) が代表を務めた。

## 合同新入生歓迎会

目的：これから環境活動を始めようと思っている人 (主に新入生) に、環境活動をする団体や携わっている人たちを紹介し、交流を通して、自分が取り組む活動を決めるきっかけを提供する。

内容：交流会、パネルディスカッション、団体紹介

エコ情報交流会 (関東)

日時：4月29日

場所：国立オリンピック記念センター

参加者：148人

合同新入生歓迎会 (関西)

日時：5月3日

場所：京エコロジーセンター

参加者：84人

その他のイベント

環境NGOと市民の集い (企画協力)

日程：12月8日

場所：国際連合大学

テーマ：「NGOにかかわる“人”について考えよう

~NGOで働くこと、NGOに必要な人材を考える」

主催：(独)環境再生保全機構

(エコ・リーグ企画協力)

内容：シンポジウム、環境NGO28団体による活動発表

参加者：約120人



## キャリアサポート

環境を学びたい高校生に情報や経験を伝える。  
大学生に環境仕事情報を提供することを通して、環境マインドを持った企業を増やします。



### 環境系大学進路相談会

#### 「えこみゆにけーしょん」

目的：環境について大学で勉強したい高校生に、実際に環境を専門に扱う大学（学部）に通っている学生の生の声を届け、将来を考える際の参考にしてもらう。

内容：シンポジウム、現役大学生による進路相談

えこみゆにけーしょん 関西

日時：8月18日・25日

場所：京エコロジーセンター

大阪府立青少年会館

参加者：90名（スタッフ含む）

えこみゆにけーしょん 関東

日時：2007年10月7日（日）

場所：東京ボランティア・市民活動センター

### 環境就職進路相談会

目的：実際に環境問題を扱う仕事に取り組んでいる人から具体的な話を聞くことにより、よりよい人生の仕事選びをしてもらうきっかけを提供する

内容：シンポジウム、社会人による進路相談

環境就職進路相談会 関西

日時：12月5日

場所：おおさかATCグリーンエコプラザ

環境就職進路相談会 関東

日時：12月15日

場所：東京ビッグサイト（日経エコプロダクツ内）

参加者：300名

協力：エコプロダクツ事務局

## マネジメントサポート

エネルギーで、ユニークな活動を行なわれています。  
しかし、学生サークルならではの課題もあり、組織マネジメントは学生サークルにとっても、重要な課題となっています。エコ・リーグでは、環境サークルに特化したマネジメントサポート、コンサルティングを実施しています。



## スキルアップトレーニング

関東スキルアップトレーニング

日時：5月27日

内容：コミュニケーションスキル

ミーティングスキル

ファシリテーションスキル

参加者：約70名

関西 スキルアップトレーニング

つどいし、ツワモノたち、いざ出陣

日時：9月8日

内容：実践！企画マスターへの道！

日時：8月18日・25日

場所：京エコロジーセンター

大阪府立青少年会館

参加者：90名（スタッフ含む）

## インターナショナルサポート

世界と日本の青年が行う持続可能な社会のための活動をつなぐことにより、それぞれの活動に、広がり・深まりを持たせ、その効果や意義を最大にすることを目的としています。



### UNEP TUNZA

#### 北東アジア青年環境ネットワーク

内容：日本、中国・韓国・モンゴルの環境活動を行う青年が一同に会し、それぞれの活動の紹介、ディスカッション、フィールドトリップ等を行った。

日時：9月18日-21日

場所：千葉大学・BUNB（東京）

参加者 計100名（オープンフォーラム含む）

テーマ：気候変動と持続可能な消費

主催：UNEP TUNZA 北東アジア青年環境ネットワーク

後援：外務省、環境省

実行委員長：菊池理美（東京大学）

その他、世界環境デーの4カ国一斉キャンペーンの開催した。

#### 第1回東アジア青年環境フォーラム

内容：韓国、中国、フィリピン、マレーシア、ネパール、インドネシア、ベトナムの青年たちを招き、水、温暖化、農業等のグループのグループディスカッション、ワークショップ等を行った。またこの後の連携について話し合った。

日時：9月21日 - 23日

場所：BUNB（東京）

参加者：86名（他9のアジア諸国からの参加者を含む）

後援：外務省、環境省

実行委員長：高山遥（神戸大学）



#### 青年の国際会議派遣

内容：国連気候変動枠組み条約COP13に青年5名を派遣した。現地では、海外の若者約300名とともに、政策キャンペーン、青年スピーチの原稿作り、化石賞の受賞式などを行った。また、ここに集まったアジアの青年たちが、アジア青年気候変動ネットワークを作ろうとしている。

日時：12月1日-12日

場所：インドネシア バリ

#### 国際派エコリーダートレーニング

目的：国際協力、国際ネットワークに関心はあるが、知識や英語等の能力が不足し行動に移せない若者のためのスキルアップ。

- 7/7/1 環境英語・プレゼンテーション 東京、大阪
- 8/16 環境英語・ディスカッション@東京
- 9/23 気候変動国際条約交渉@東京
- 10/4 インドの青年と語る@東京
- 12/22 COP13 報告会  
with アメリカ人スペシャルゲスト
- 2/12 UNEP アジア太平洋事務局次長と語る@名古屋

#### 環境×国際 啓発ワークショップ等

目的：環境活動を行う人に広い視野を持ってもらう。とりわけ、日本の生活が海外に与える影響などについて知ってもらう。

内容：各地で地球規模の環境問題や他国の若者たちの環境活動の紹介、どのような国際協力ができるかなどの発表を行った。

- 5/3-5 中部地域でのプレゼンテーション
- 5/3-5 四国地域でのプレゼンテーション
- 5/6 関西地域でのプレゼンテーション
- 6/2-3 関東地域での活動発信ブース出展
- 8/30-9/3 全国ギャザリングでのワークショップ  
・ディスカッション@岐阜
- 11/27 AIM（学生団体）での招待講演
- 2/25 関東ギャザリングでのワークショップ
- 3/16 四国ギャザリングでのワークショップ

#### 国際×環境ガイドブックの発行

内容：将来国際的に環境問題の分野で活動したい青年向けに、海外インターンシップや、国際研修、英語勉強方法など、お勧めの体験を紹介。

